

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【公表番号】特表2016-523258(P2016-523258A)

【公表日】平成28年8月8日(2016.8.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-047

【出願番号】特願2016-521847(P2016-521847)

【国際特許分類】

C 0 7 D 487/14	(2006.01)
A 6 1 K 31/519	(2006.01)
A 6 1 P 25/16	(2006.01)
A 6 1 P 25/24	(2006.01)
A 6 1 P 25/18	(2006.01)
A 6 1 P 25/28	(2006.01)
A 6 1 P 25/26	(2006.01)
A 6 1 P 43/00	(2006.01)

【F I】

C 0 7 D 487/14	C S P
A 6 1 K 31/519	
A 6 1 P 25/16	
A 6 1 P 25/24	
A 6 1 P 25/18	
A 6 1 P 25/28	
A 6 1 P 25/26	
A 6 1 P 43/00	1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月29日(2018.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 2】

方法IIIの工程(1)の塩結晶は、(1)塩基、アニリン、パラジウム触媒およびリガンドの存在下、溶媒中で(6aR, 9aS)-3-クロロ-2-(4-(6-フルオロピリジン-2-イル)ベンジル)-5-メチル-5,6a,7,8,9,9a-ヘキサヒドロシクロペンタ[4,5]イミダゾ[1,2-a]ピラゾロ[4,3-e]ピリミジン-4(2H)-オンを搅拌し；(2)有機層を分離し；(3)工程(2)で得られた溶液へ、所望により溶媒中の、酸を添加し、そして工程(3)で得られた混合物を搅拌して、目的の塩を得ることにより製造し得る。工程(1)の有用な塩基、パラジウム触媒、リガンドおよび溶媒は、方法IIIにおいて先に定義している。工程(2)の有用な酸は、方法Iにおいて先に定義している(例えば、フマル酸、リン酸、酒石酸(例えば、L-酒石酸)、メタンスルホン酸ならびに安息香酸)である。